

(株)デザインボックス(建築設計監理業・岐阜市)

働きやすい環境整備で、女性社員が増加。子育て理由の離職も皆無

- ・ 就職希望者の求めるものを先取りし、子育て中の正社員短時間勤務や在宅勤務など柔軟に働きやすい勤務体系を導入。子育て理由の離職は皆無に
- ・ 働きやすい環境に惹かれ、県外出身の就職者も増加。社員の男女比も逆転
- ・ 手がつけられていなかった業務を切り出し、超短時間雇用で障がい者の活躍の場を提供

設計など建築業は男性中心の職場環境であり、かつては残業が多く、土日出勤も当然の業界でした。加えて(株)デザインボックスが所在する岐阜市は、名古屋市が通勤圏内ということもあり、名古屋市などの設計事務所と採用を競い合う環境にありました。

就職希望者から選ばれる会社を目指して

「インターネットで採用募集を出しても、年間休日が120日以上など待遇面で就職希望者の条件をクリアしなければ、名古屋市などにある同業他社と競い合うことも出来ない。就職先を待遇で選ぶ時代^{やしろうたかし}に変わってきたのだ」と八代俊代表は気づきました。こうして10年ほど前から、社員の声を聞きながら、労働環境の改善を行っていきました。



岐阜市内のオフィス

本人の希望に応じて短時間勤務や在宅勤務を柔軟に認める

例えば、子育て中の社員については、9時から16時など本人の希望に応じた短時間勤務を認めており、現在は5名がこの制度を利用しています。

また、子育て中の社員に加え、遠方から通勤する社員も多いことから、在宅勤務用パソコンを全社員に支給し、在宅勤務を柔軟に認めています。子どもの急病で看護が必要な時や出張した際などに、無駄な時間を費やすことが無く、効率的に業務を出来るようにしています。

残業時間が抑制され、社内の雰囲気も改善

このような取組みの結果、かつて深夜まで働くことが当たり前だったことが、今では残業時間は週平均5時間程度に抑制され、子育てを理由に退職することも皆無となりました。



社員のコミュニケーションも活発に

また、働きやすい環境に惹かれ、同社で働きたいという方が増え、今では社員の約3割は県外出身者となっています。また、子育てしやすい環境から、女性社員が6割を占め、社員の男女比も逆転し、かつての男性中心だった社内の雰囲気も変わったそうです。

障がい者も貴重な戦力として活躍

さらに、岐阜市超短時間ワーク応援センターの紹介により、令和3年から障がい者1名を週1日、3時間雇用し、入札情報のエクセルへの転記作業などを任せています。

「センターの紹介により、パソコン作業が得意な方と出会えたため、過去の入札情報をデータベースとして整理する業務を切り出してお願いすることにしました。社員のマンパワーも限られているため、なかなか手を付けられずにいた業務ですが、大変助かっています」と話す八代代表。

これまで障がい者を雇用した経験がなく、当初はどのような配慮をしていいか不安もあったそうですが、センターの支援員からアドバイスを受け、使用頻度の少なかった会議部屋にパソコンを設置し、専用の執務スペースにするなど、障がい者の方が集中して作業ができる職場環境を整えました。結果、3年以上継続して就労されており、今では貴重な戦力として活躍されています。



障がい者の方が集中して作業ができる執務スペース

時代の変化に合わせて、職場環境をブラッシュアップ

「社会情勢が大きく変わる中、今後は建築設計監理業に求められる役割も変わっていくだろう」と語る八代代表。変化の激しい状況の中でも確実に人材を確保することが出来るよう、社員の声を上手く反映させ、職場環境を常にブラッシュアップしていくことが重要だと考えています。

【(株) デザインボックス】 (<https://www.designbox.co.jp/>)

所在地：岐阜市日野南9-1-17

従業員：27名（正社員26名、超短時間雇用1名）

設立：平成元年

(令和7年8月末時点)